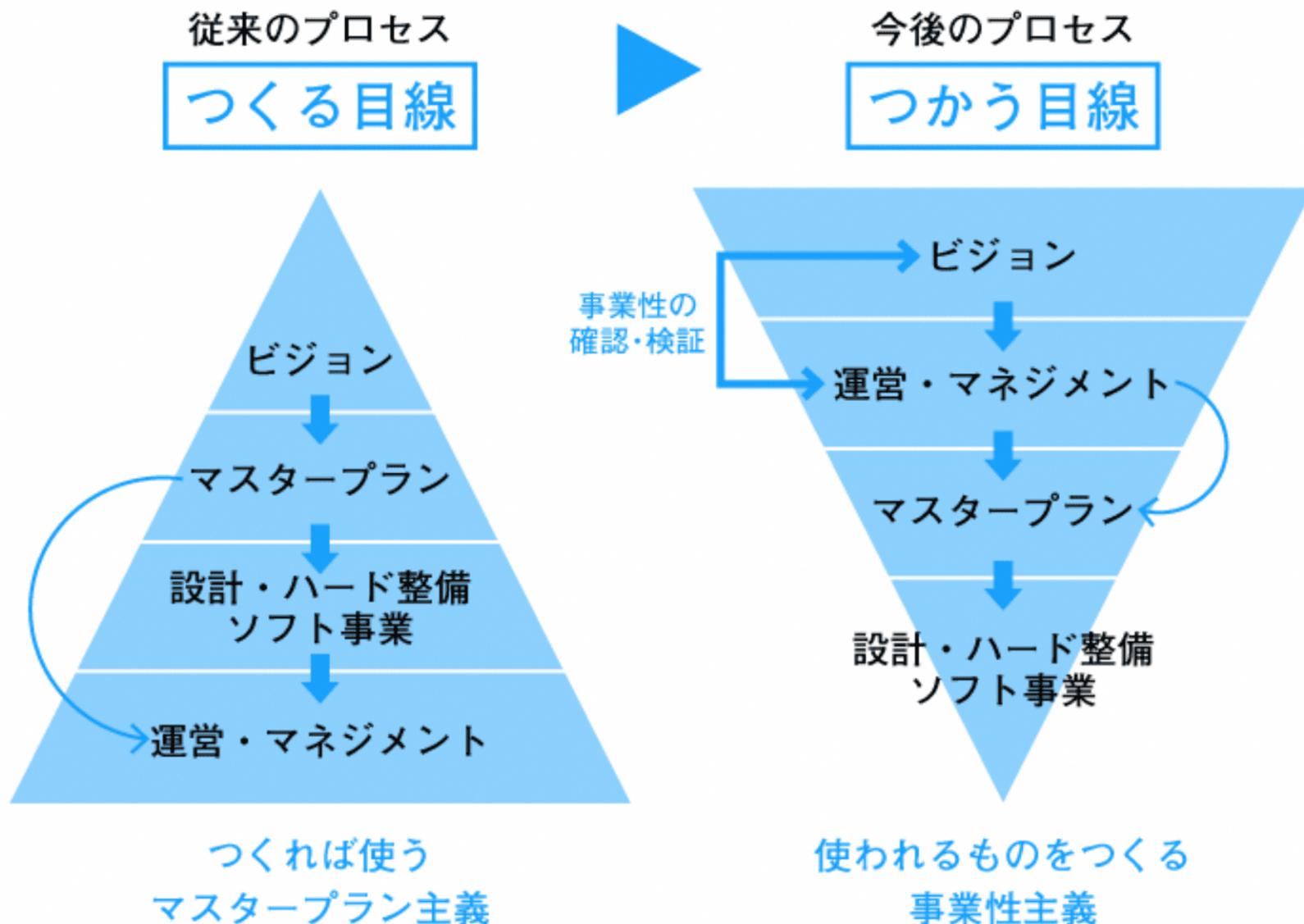


社会実験の考え方

新たなプロセス 「つくる目線」⇒「つかう目線」



人吉での展開

アクションプラン素案という将来像のたたき台
将来の暮らし方、生業をイメージする
行政だけではできない、**市民・事業者として、**
活動・投資に参画していきましょう！

【社会実験の活用・段階的な進め方】

中川原公園・河川沿いの社会実験のプロセス(案)

復旧期

- 2024** ・ 豪雨被害により立入禁止 →最低限の災害復旧工事の実施
- ・ 将来イメージが持ちにくい →かわまちづくり計画 & アクションプラン素案をたたき台にして議論
- ・ 使い方や担い手が不明 →次年度社会実験の担い手・アイデアを募る

社会実験期
(仮説の構築)

- 2025** ・ 河川を使う人がいない →手を挙げた担い手が使いこなしている状況をつくる
- ・ どんな使い方・景色ができるかわからない →日常時 & 非日常時の楽しみ方を試す
- ・ 回遊のイメージがわからない →回遊のハブとして様々な過ごし方を感じられる状況に

- 2026** ・ 利用ルールがわかりにくい、コンセンサスがとれていない →河川利用ルールを作成
- ・ どのようなハードが求められているのかわからない →検証結果より提案
- ・ 目指すべき将来像が定まっていない →中川原公園周辺エリアビジョンのとりまとめ

実践期
(運営・ハード実現化)

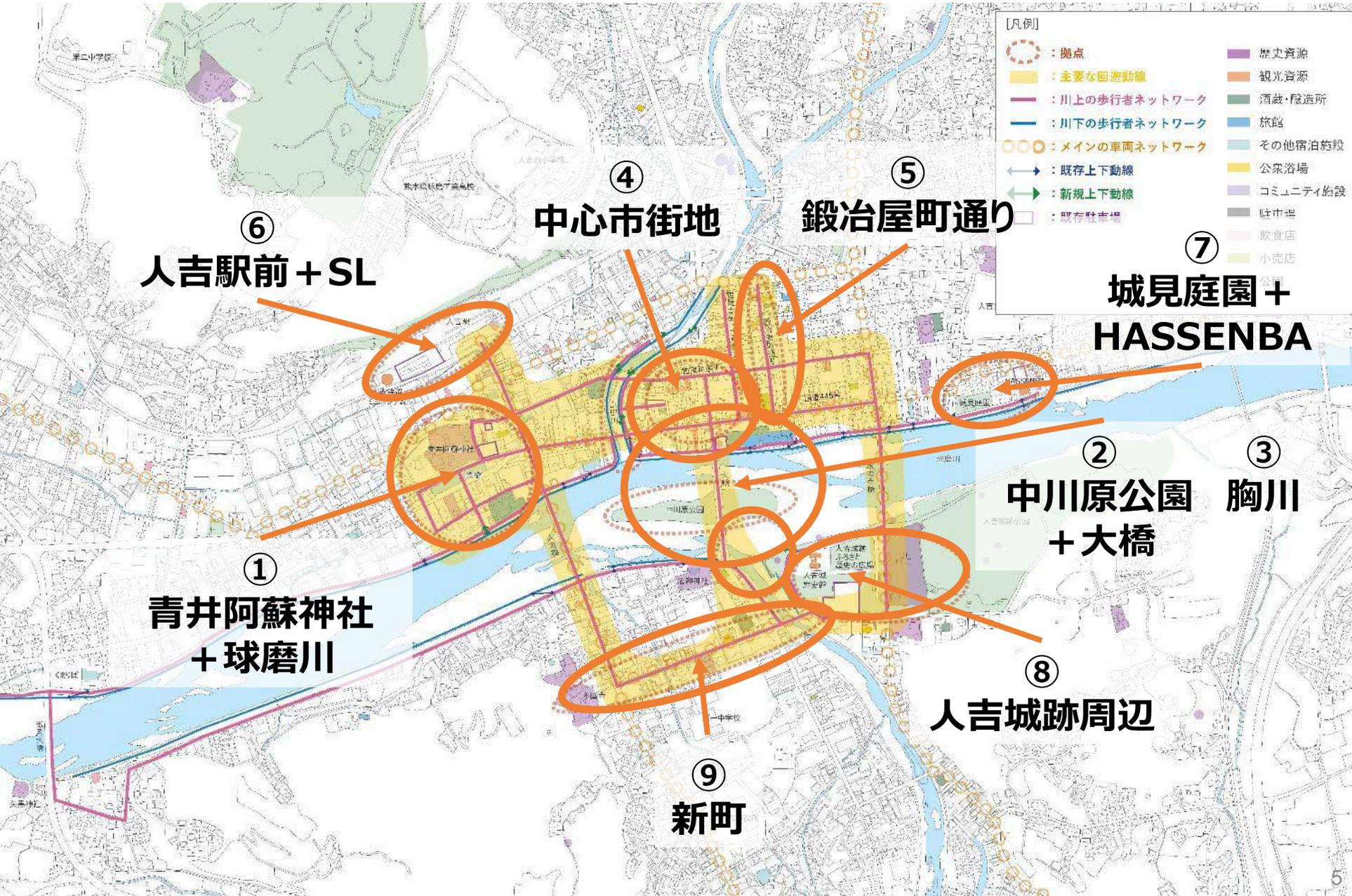
- 2027** ・ 持続する運営体制の構築 →運営準備組織の組成・運営、河川利用ルールの改善
- ・ 利活用に必要なハードの設計

- 2028** ・ 運営組織の位置づけ (官民役割分担 / 公募など)
- ・ ハード整備

自立期
運営期

- 将来** ・ 中川原公園 & 対岸 (河川 + 公園 + 道路) における民間運営の仕組みの自走

【2025社会実験の想定エリア】



【2025社会実験の概要】

【実施期間】 9月～10月頃（仮）

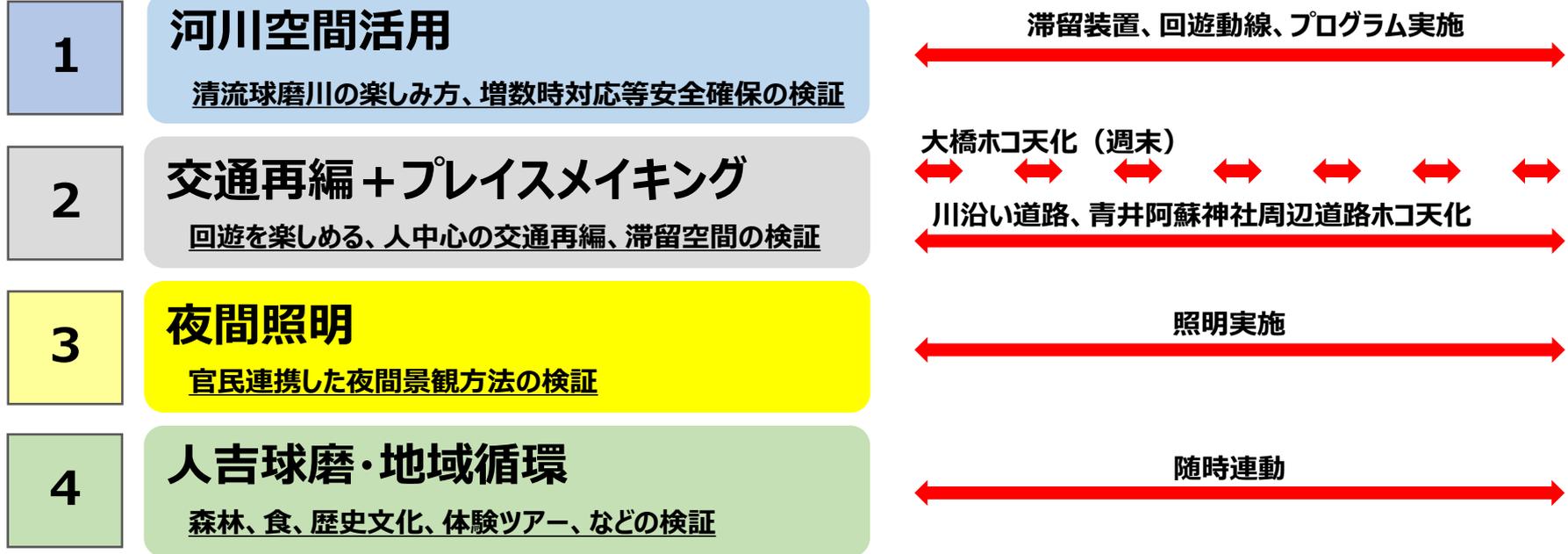
※～9月20日までが「出水期」

→中川原公園など、河川が関連する内容については、
「出水期」「非出水期」両方で実施することにより、増水時の対応策も
含めた検証を行います

※実施内容・エリアによって、上記期間以外に実施する可能性もあります

【2025社会実験の概要】

○検証の4テーマ



【検証（調査）方法】

- ① プレイス（滞留行動）調査 : アクティビティの検証
- ② 交通調査 : 交通影響の検証、川沿い回遊動線の検証
- ③ 来場者アンケート : アクティビティ・質・照明効果の検証
- ④ 実施者アンケート : プログラム運営・公共空間活用・照明効果の検証
- ⑤ 地域アンケート : 社会実験、将来像全体の検証

社会実験（≠イベント）のねらい

やってみたいを
かなえる
使いこなす
【まちを開く】



アイデアを実現できる
場所へ

収益をあげて
事業化する
【稼ぐ】



稼げる事業へ

価値を高める
運営体制を
つくる
【持続運営】



官民連携・民間主体の
運営体制の構築

公共空間／まちを自分たちの場所に

【2025社会実験の概要】

行政運営事業

- ・社会実験事務局が実施する事業
- ・将来像を期間限定で体験するための、仮設のハード／滞留設備／夜間照明／交通規制など

民間自主事業

- ・対象エリアを舞台にプログラムの主体を募集し、実現する事業
- ・全体の調整、許認可や広報支援は事務局が行い、民間主体が自主事業としてプログラムを実施

協力事業

- ・社会実験期間中に開催される、既存の行事やプログラム
- ・相互の企画連携、広報連携を実施

どちらもOK!

民間自主事業

[パターンA]
事業化・日常化を目指したい
プログラム

球磨川テラス
(あゆの里・鍋屋前の活用)

中川原公園での
テントサウナ・BBQ・キャンププログラム

リバーアクティビティ
(ラフティング・SUPなど)

サードプレイス作り

毎月のマルシェ

[パターンB]
まず単発でやりたいプログラム
(≒イベント)

マルシェ
(単発)

イベント出店

ワークショップ

音楽フェス



【費用の考え方】

行政運営事業

事務局負担

民間自主事業

事業実施者の負担
(事務局負担は無し)

※対象となる助成制度の紹介をします

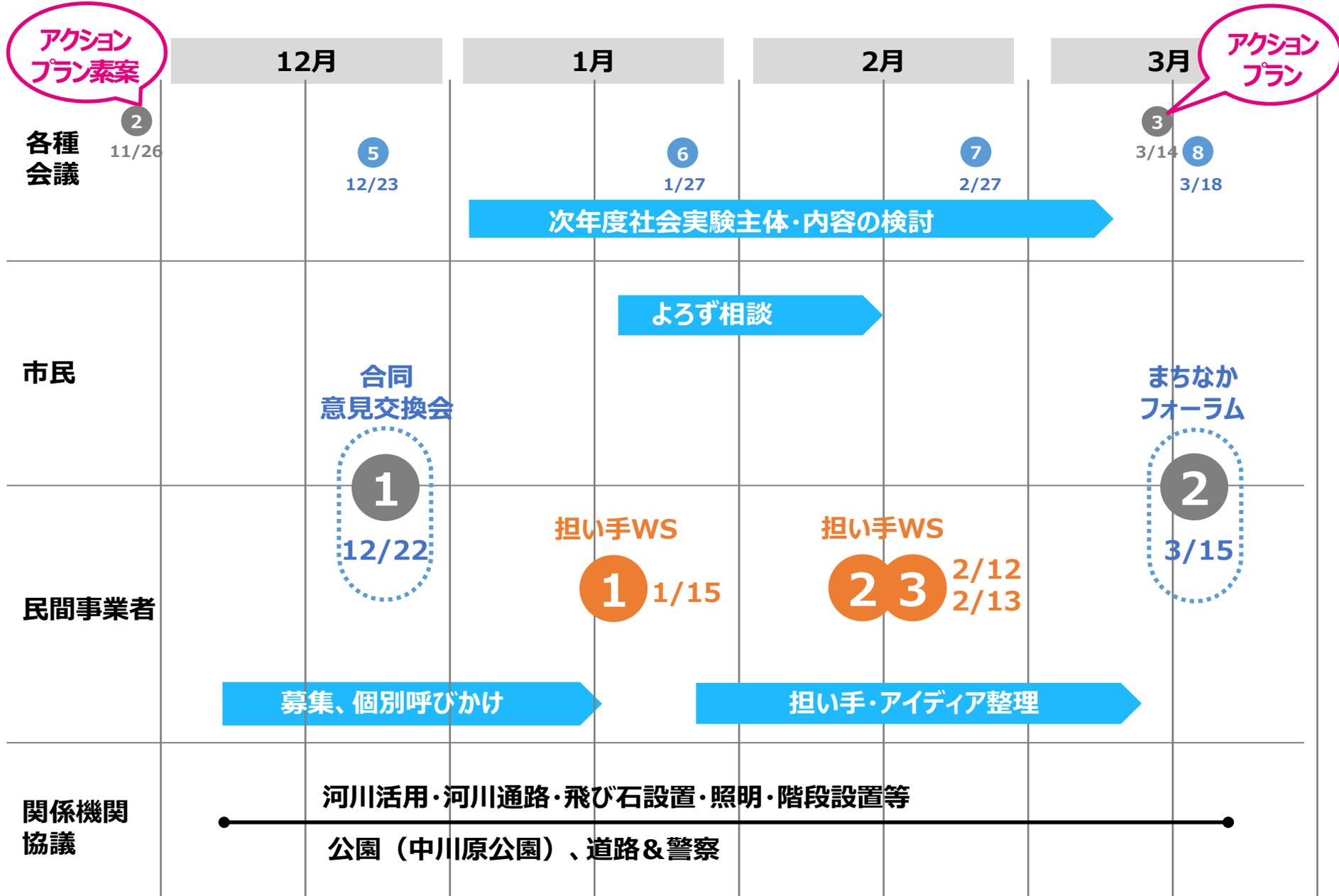
協力事業

事務局費用負担無し

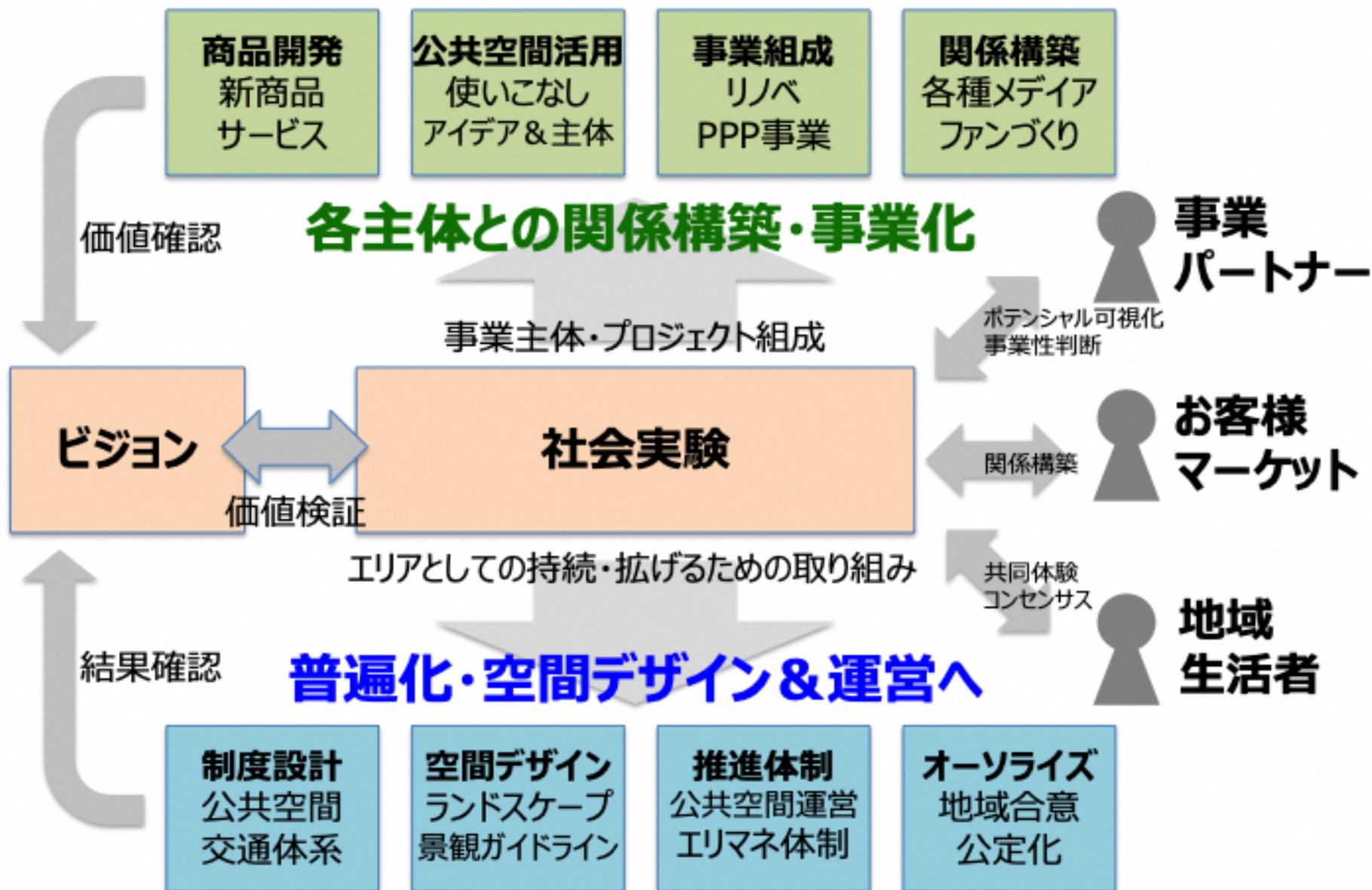
【2025社会実験の推進体制】



【2024年度後半のスケジュール】

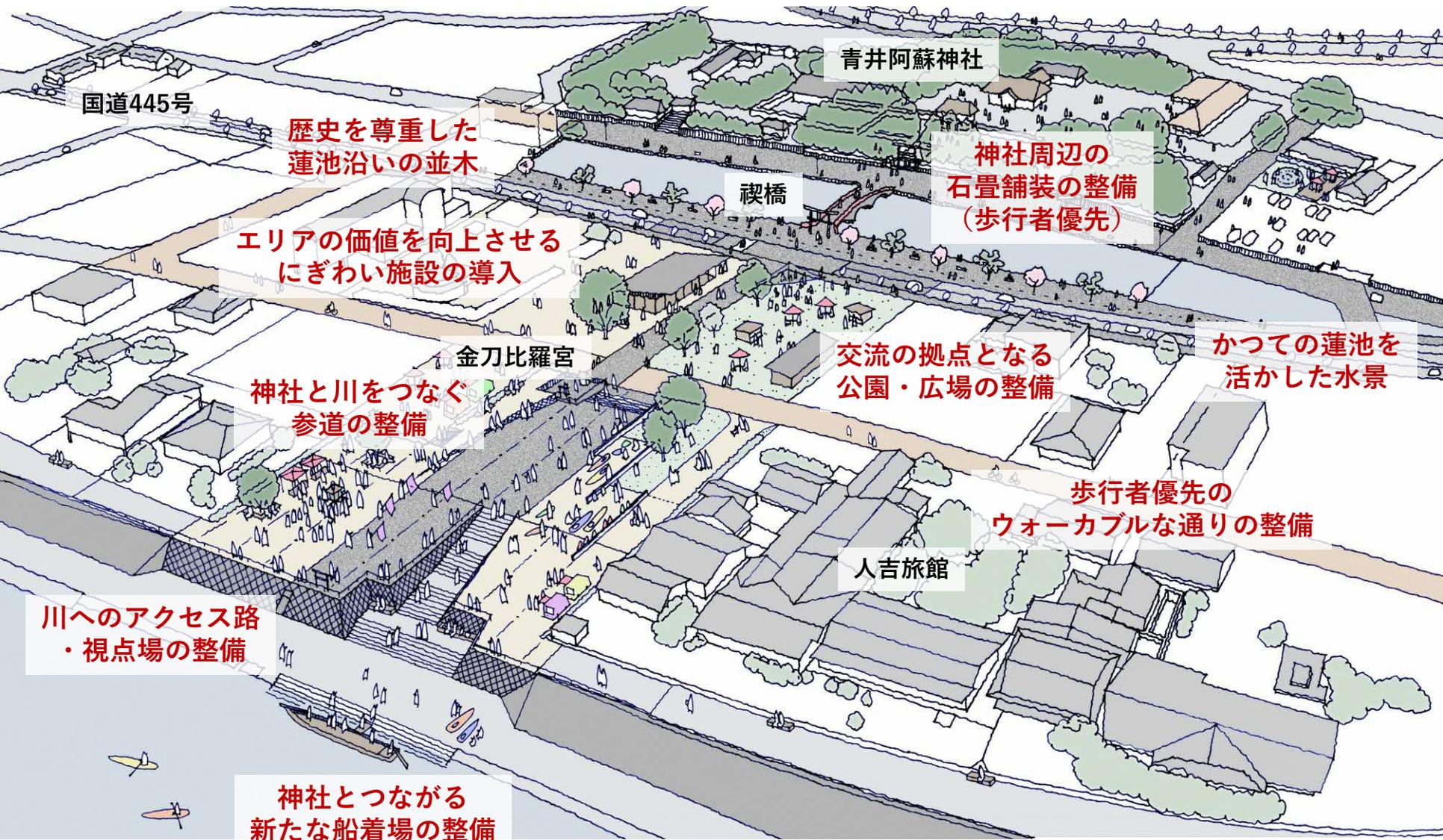


社会実験の効果的な活用



①青井阿蘇神社周辺+球磨川 将来イメージ (アクションプラン素案)

[青井阿蘇神社周辺のイメージ]



青井阿蘇神社

国道445号

歴史を尊重した
蓮池沿いの並木

神社周辺の
石畳舗装の整備
(歩行者優先)

禊橋

エリアの価値を向上させる
にぎわい施設の導入

かつての蓮池を
活かした水景

金刀比羅宮

交流の拠点となる
公園・広場の整備

神社と川をつなぐ
参道の整備

歩行者優先の
ウォークブルな通りの整備

人吉旅館

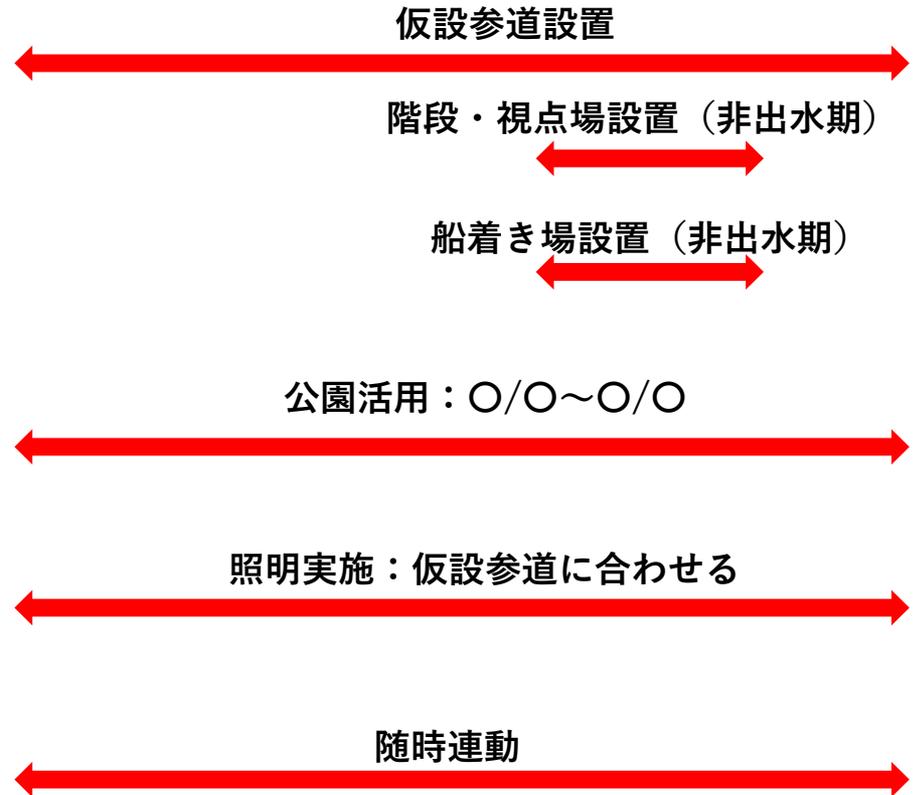
川へのアクセス路
・視点場の整備

神社とつながる
新たな船着場の整備

○検証テーマ

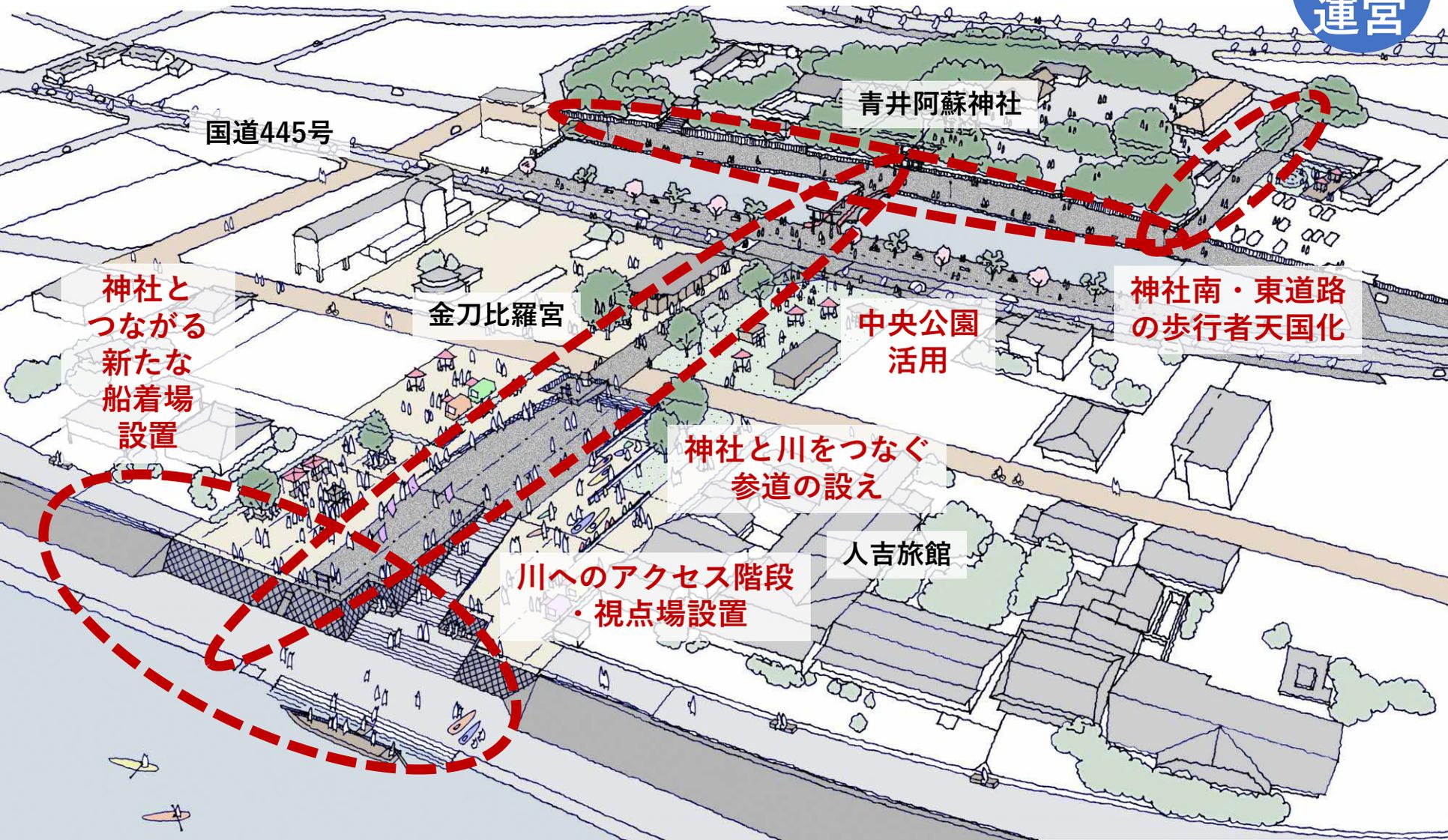
- 1 参道の演出
- 2 船着き場
- 3 (仮称)中央公園憩い空間の創出
- 4 夜間景観
- 5 人吉球磨・地域循環

○実施スケジュール



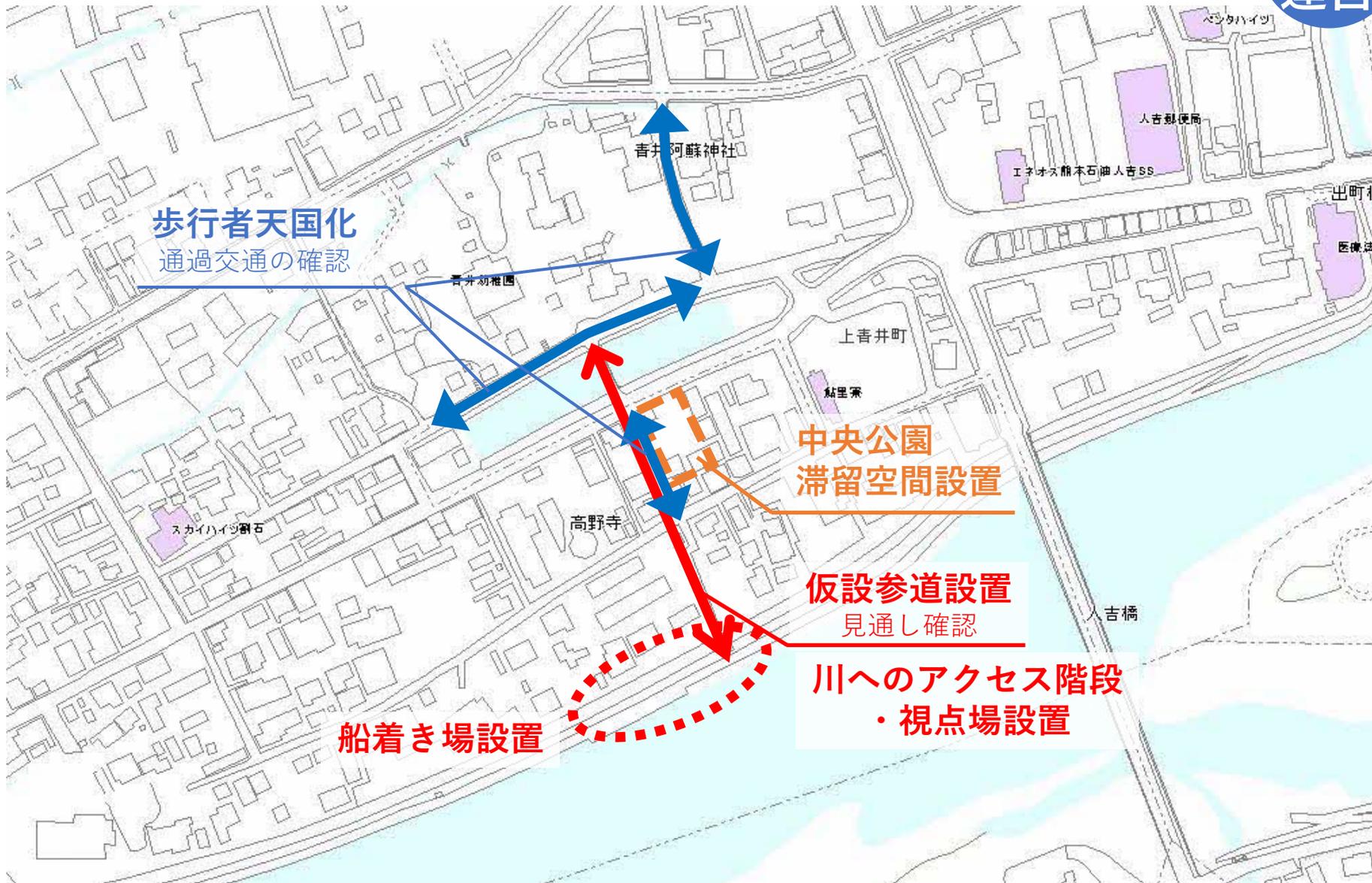
①青井阿蘇神社周辺＋球磨川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 内容案



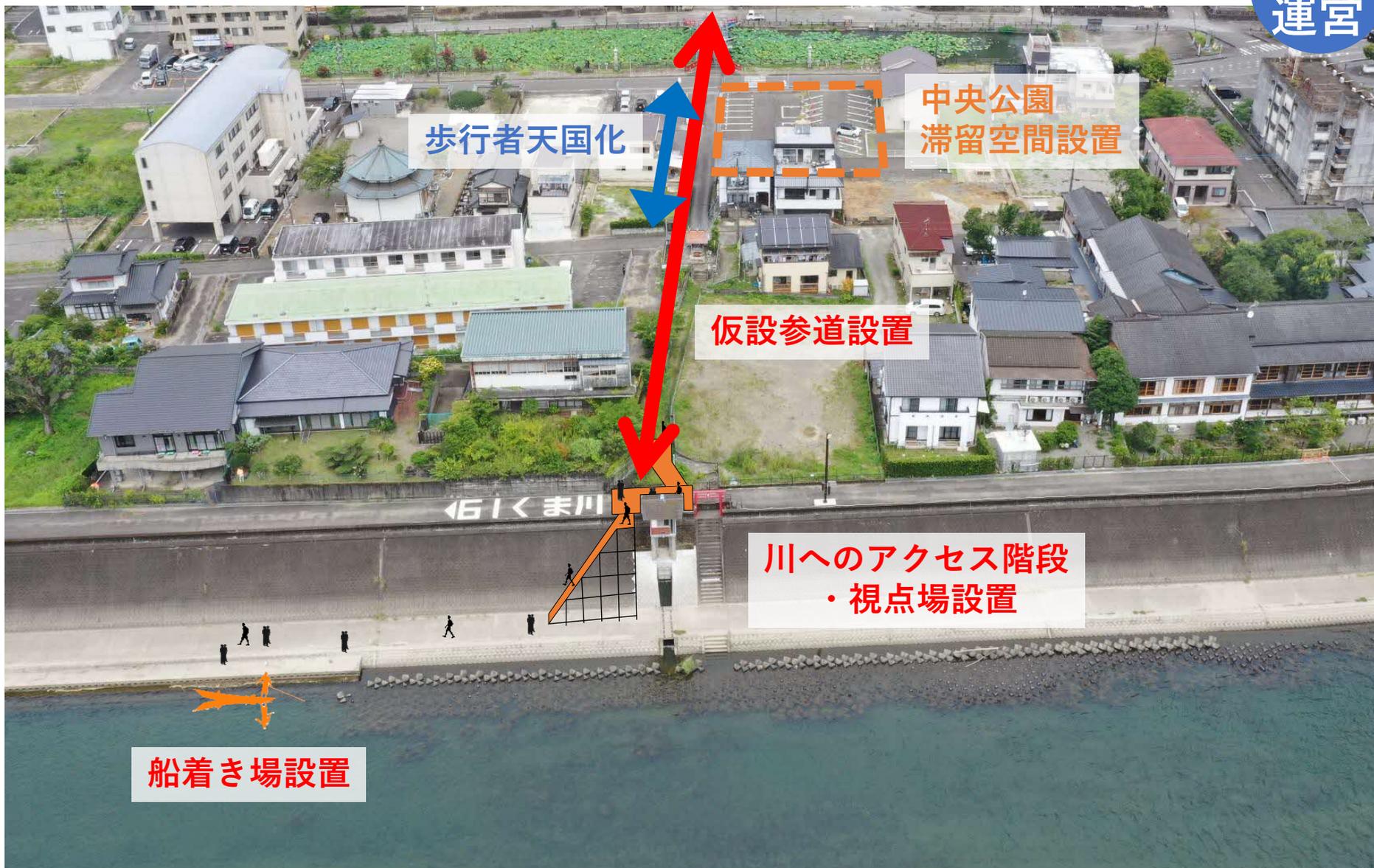
①青井阿蘇神社周辺 + 球磨川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 位置案



①青井阿蘇神社周辺＋球磨川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 イメージ



①青井阿蘇神社周辺＋球磨川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 イメージ

つかいこなし [テーマ×シーン]

・青井阿蘇神社周辺のつかいこなし方を、テーマとシーンを想定して企画する。

- | | |
|------------------|--------------------|
| I：文化継承・憩い | i：日常 |
| II：ローカル・コミュニティ × | ii：日常+α（月1回など定期開催） |
| III：アクティブ・歴史 | iii：非日常 |
| IV：おくんち祭り | |

※今後アイデア・主体を増やしていく

[参考イメージ]

仮設参道設置（青井阿蘇神社～球磨川までの見通し）

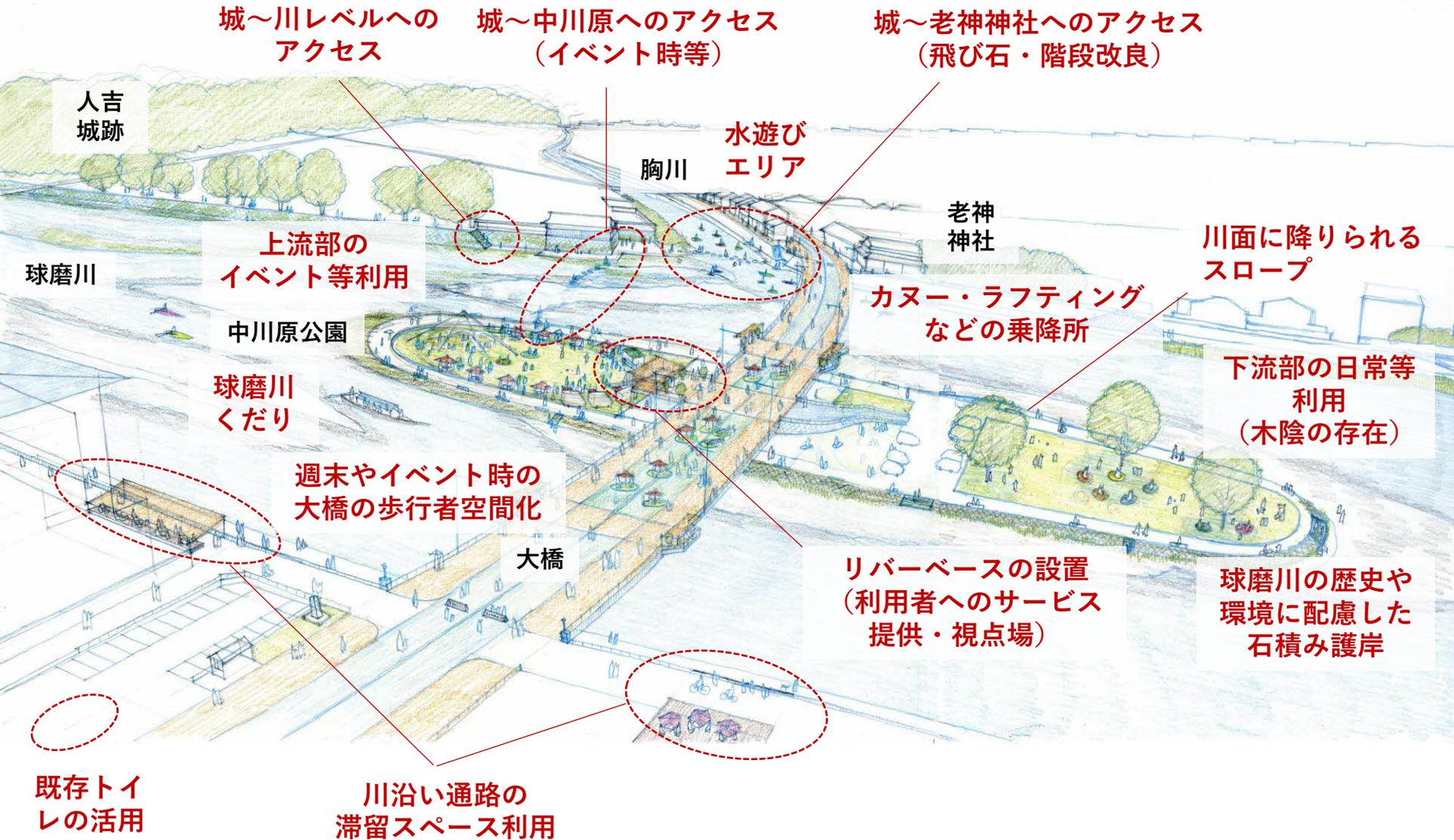


歩行者専用道路化



②中川原公園+大橋 ③胸川 将来イメージ (アクションプラン素案)

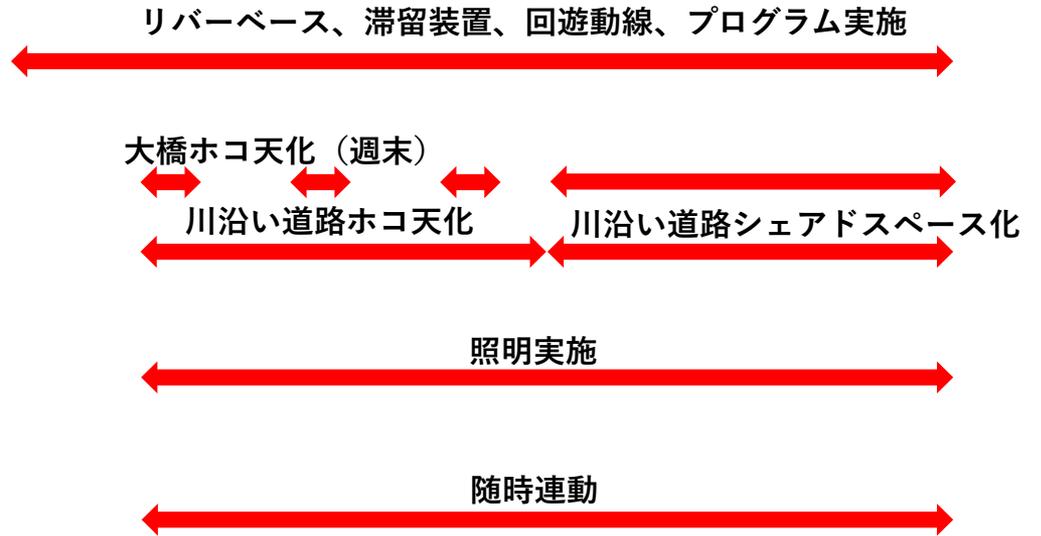
[中川原公園・大橋のイメージ]



○検証テーマ

○実施スケジュール

- 1 河川空間活用
- 2 交通再編+プレイスメイキング
- 3 夜間景観
- 4 人吉球磨・地域循環



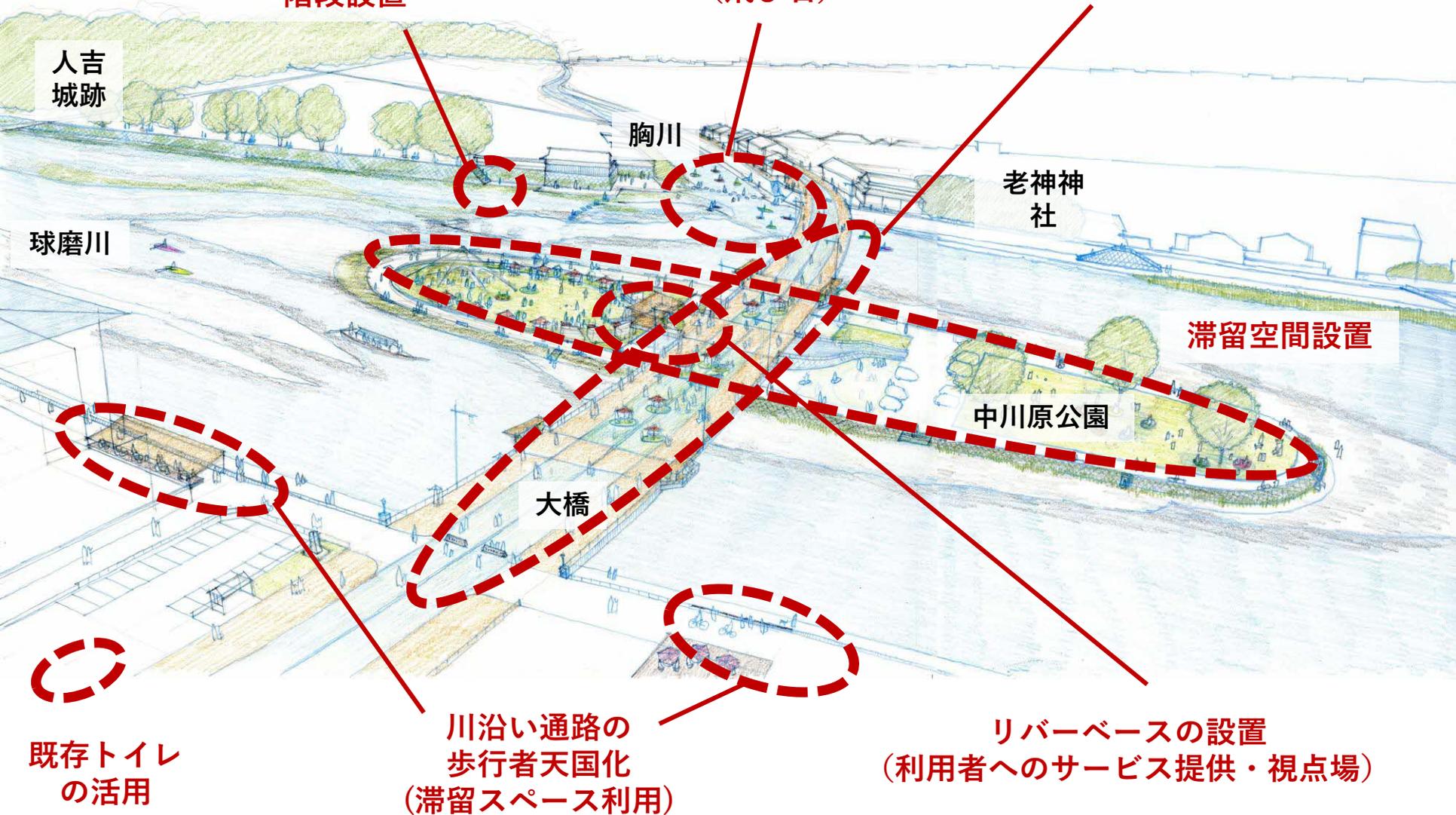
②中川原公園+大橋 ③胸川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 内容案

城～川レベルへの
階段設置

水遊びエリア
城～老神神社へのアクセス
(飛び石)

週末やイベント時の
大橋の歩行者空間化



②中川原公園+大橋 ③胸川 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 公募事業イメージ

つかいこなし [テーマ×シーン]

・中川原公園のつかいこなし方を、テーマとシーンを想定して企画する。

- I : 飲食・散歩・体操 i : 日常
- II : アクティブ・水遊び × ii : 日常+α (月1回など定期開催)
- III : 学び・自然・アート iii : 非日常
- IV : マーケット・フェス

※今後アイデア・主体を増やしていく

[参考イメージ]

中川原ネイチャーライブラリー



中川原ピクニック



中川原水辺BBQ



中川原お月見



中川原キャンプ



中川原薪割り体験



中川原ナイトマーケット



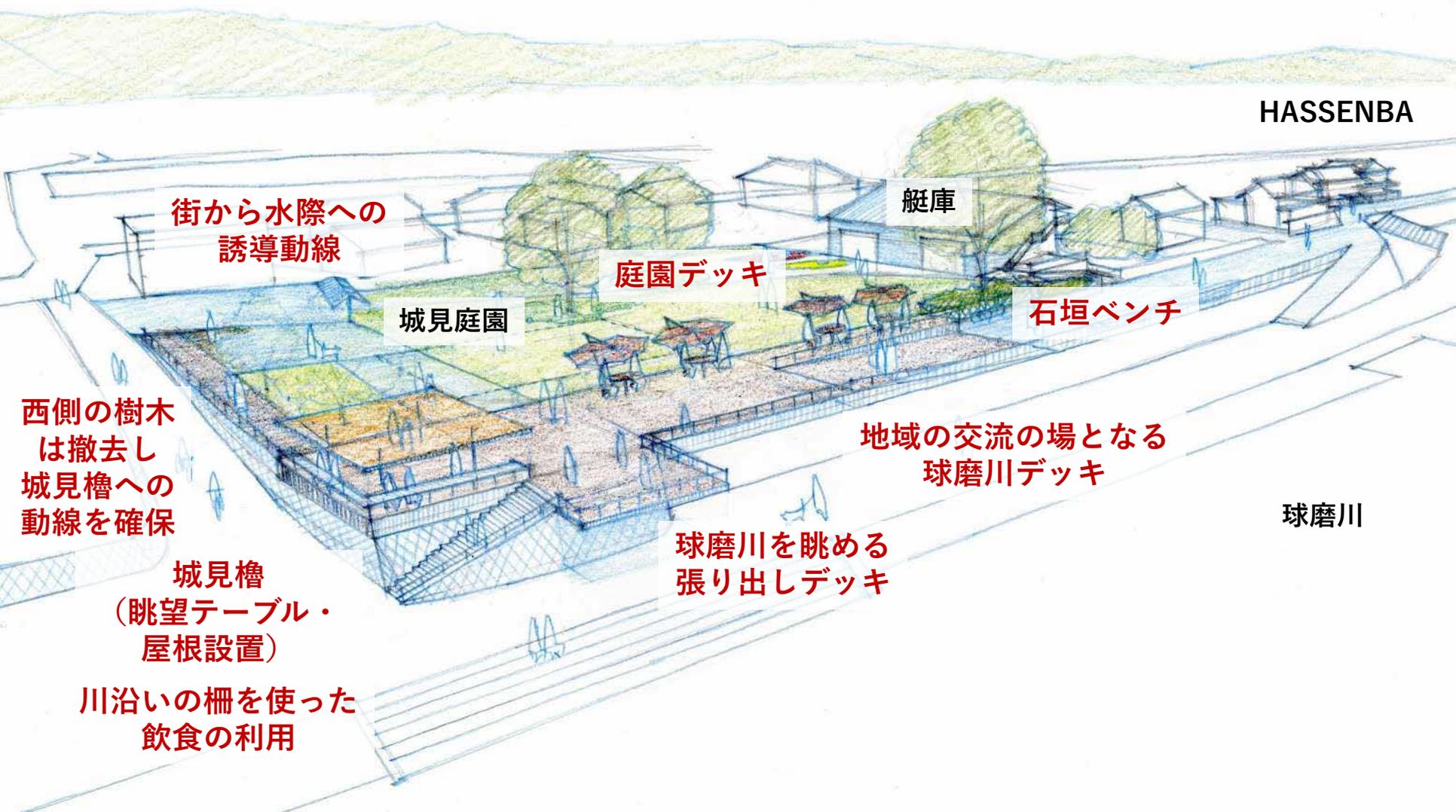
中川原シネマフェス



中川原アートプログラム



[城見庭園イメージ]



HASSENBA

街から水際への
誘導動線

艇庫

庭園デッキ

城見庭園

石垣ベンチ

西側の樹木
は撤去し
城見櫓への
動線を確保

地域の交流の場となる
球磨川デッキ

球磨川

城見櫓
(眺望テーブル・
屋根設置)

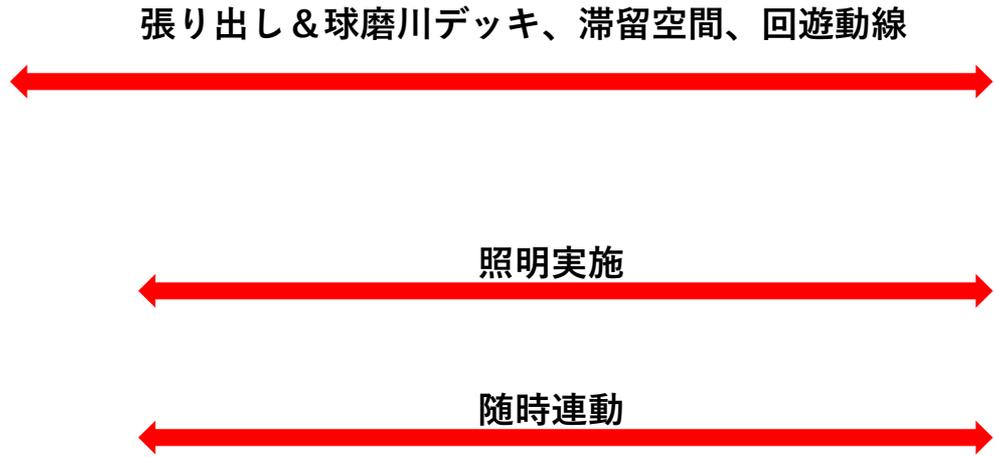
球磨川を眺める
張り出しデッキ

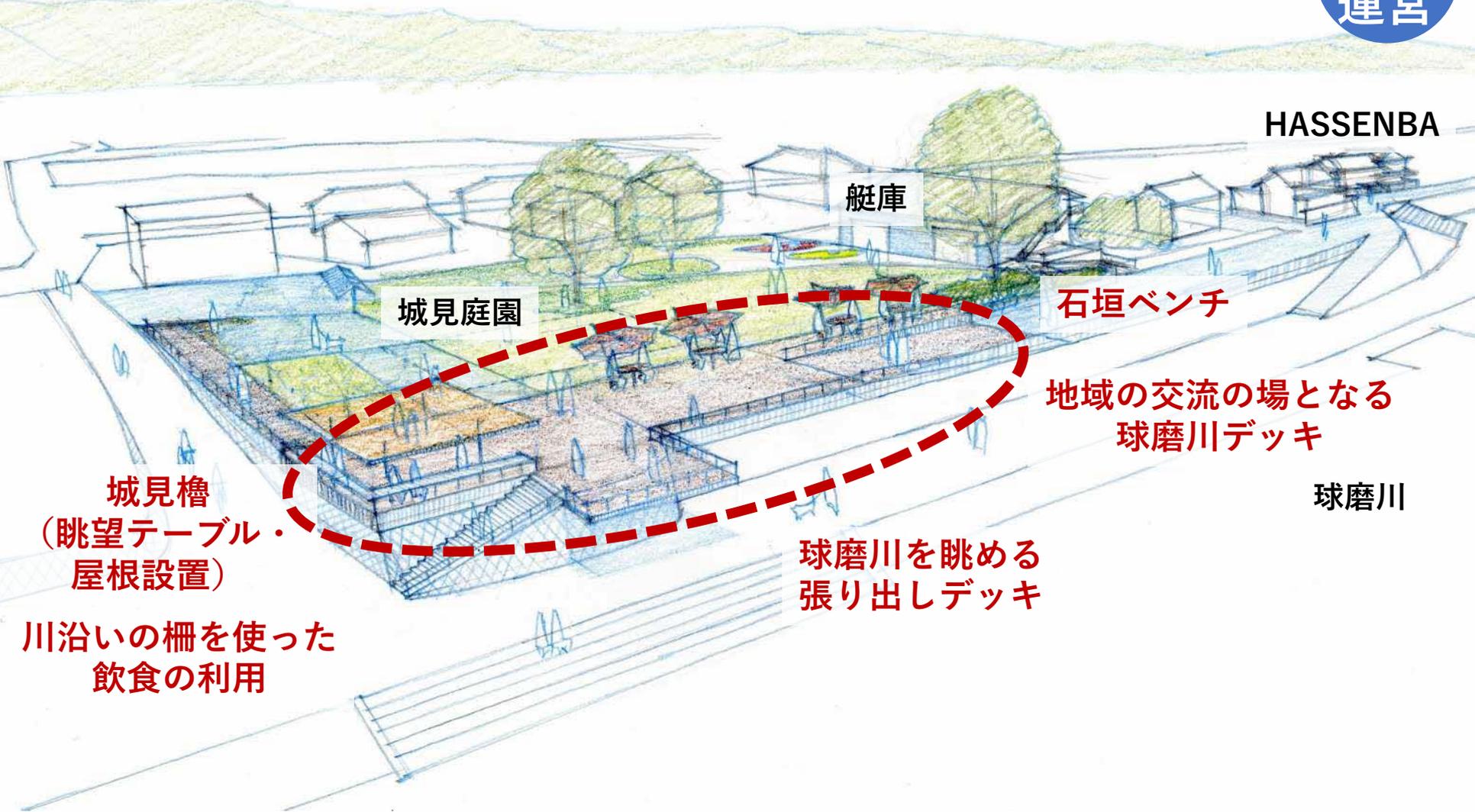
川沿いの柵を使った
飲食の利用

○検証テーマ

- 1 城見庭園
管理用道路の活用
- 2 HASSENBAとの連動や回遊性
- 3 夜間景観
- 4 人吉球磨・地域循環

○実施スケジュール





HASSENBA

艇庫

城見庭園

石垣ベンチ

地域の交流の場となる
球磨川デッキ

球磨川

城見櫓
(眺望テーブル・
屋根設置)

球磨川を眺める
張り出しデッキ

川沿いの柵を使った
飲食の利用

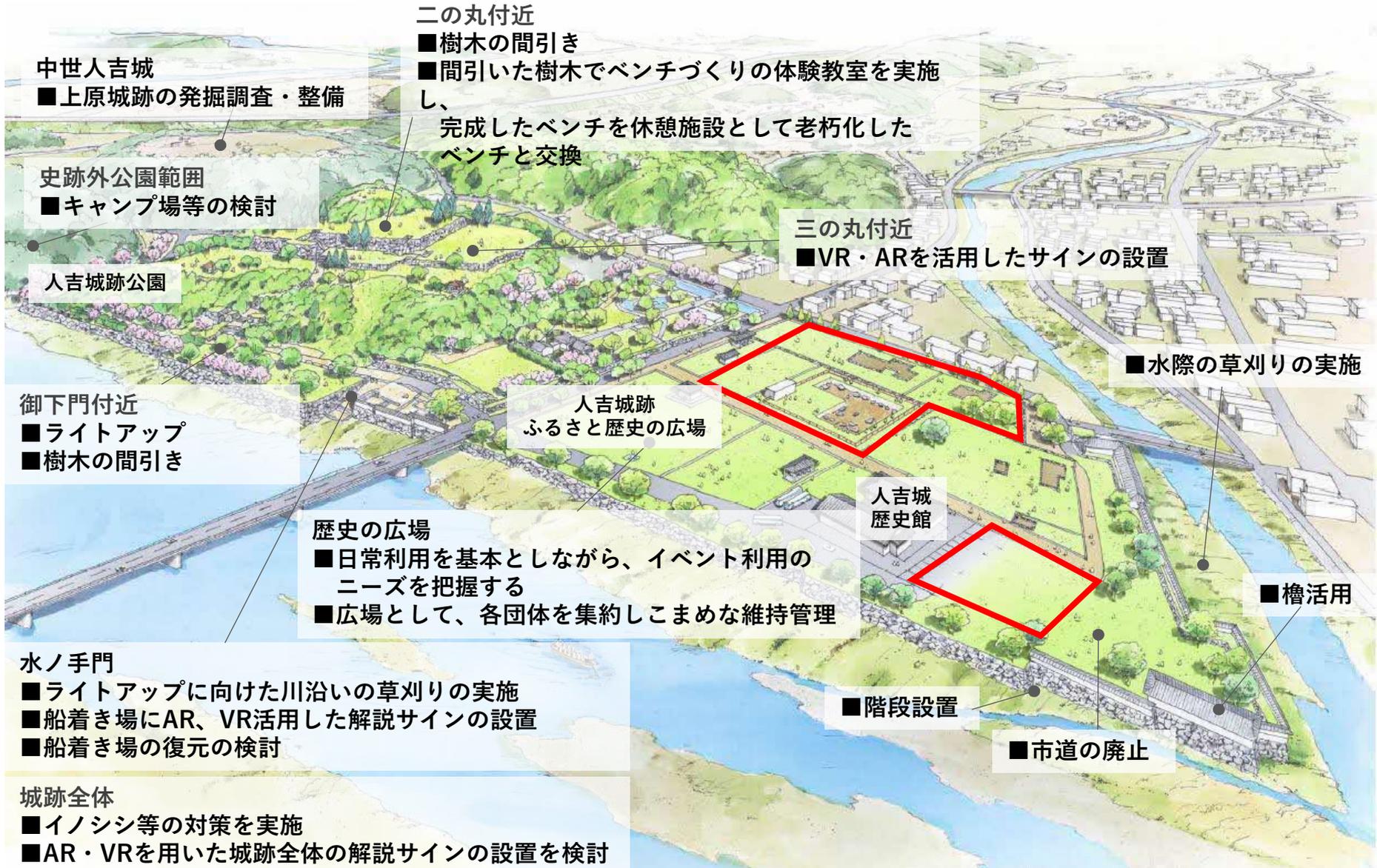
⑧人吉城跡 将来イメージ (アクションプラン素案)

[人吉城跡イメージ]

[凡例]

■ 検討箇所

■ 赤枠範囲の利活用検討



○検証テーマ

1

城跡の憩い、歴史学習の空間を創出

2

歴史館と人吉城跡・周辺地域の連動

3

城跡内空間の利活用

4

夜間景観

5

人吉球磨・地域循環

○実施スケジュール

滞留空間の設置、環境整備

随時連動、レンタサイクルの設置、ガイド育成

週末の市道歩行者天国化：周辺イベントと連携・ニーズ把握

滞留空間・サービス機能の設置

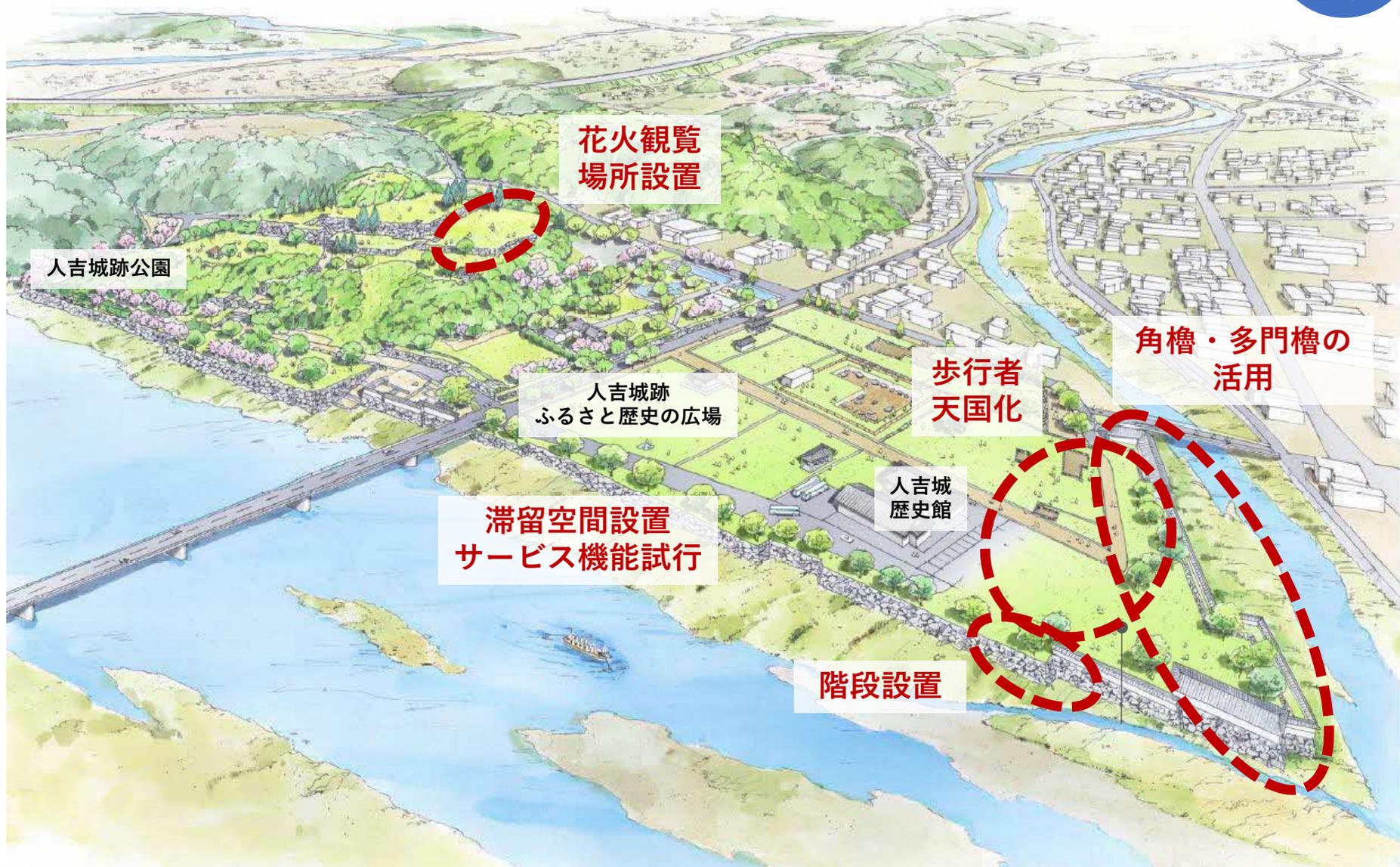
花火観覧席の設置

照明実施

随時連動

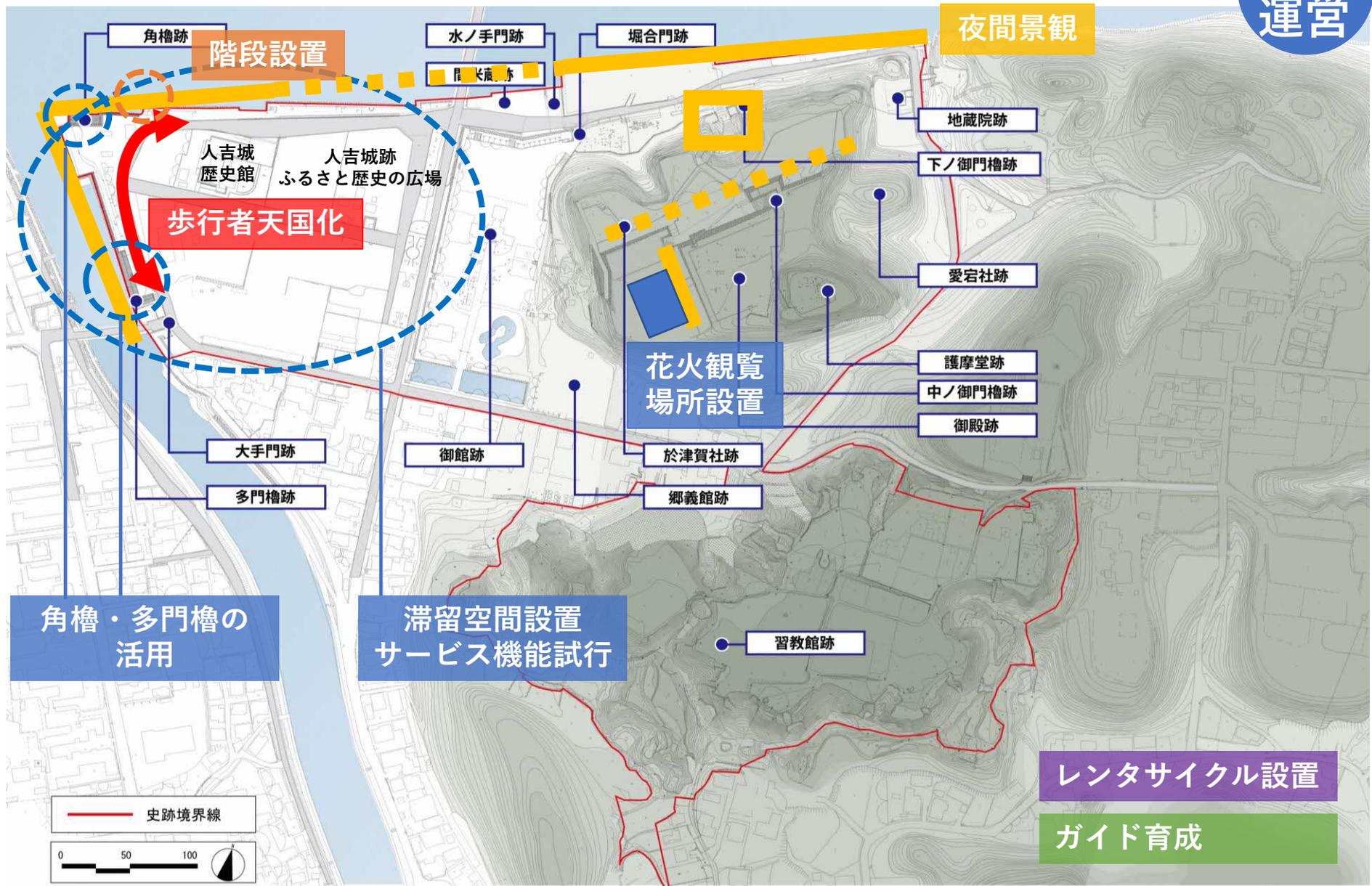
⑧人吉城跡 将来イメージ (アクションプラン素案)

○次年度社会実験 実施内容案

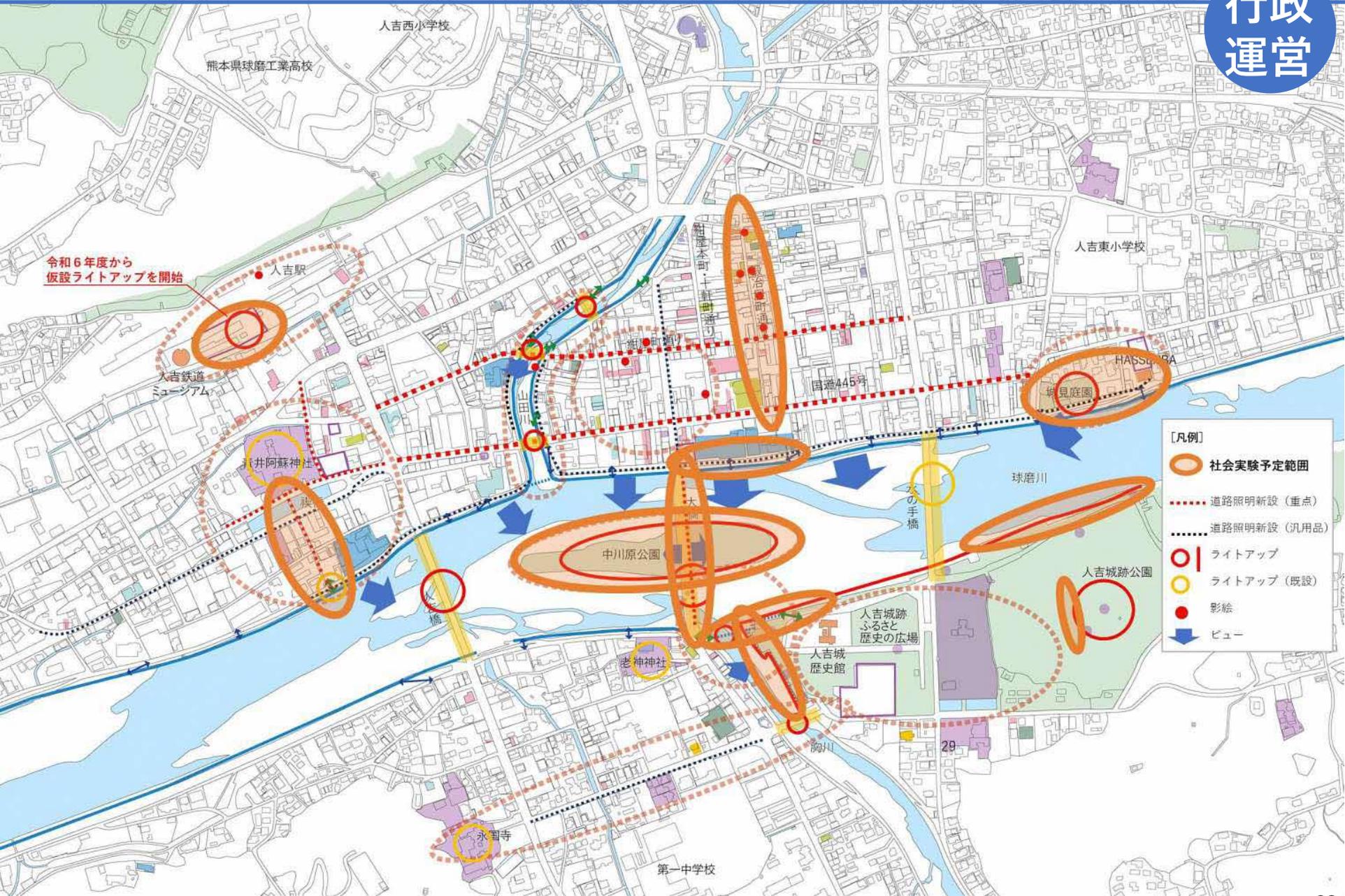


⑧人吉城跡 次年度社会実験内容案

○次年度社会実験 実施位置案



○次年度社会実験 内容案：夜間景観



○検証テーマ

○実施スケジュール

1 グリーンモールの設置

グリーンモール実施：3月頃

2 夜間景観

照明実施：3月頃

○ 社会実験実施位置



○社会実験イメージ

つかいこなし [テーマ×シーン]

・交流・」文化の場（うぐいす温泉周辺）のつかいこなし方を、テーマとシーンを想定して企画する。

- I : 憩い・交流
 - II : ローカルカルチャー
- ×
- i : 日常
 - ii : 日常 + α (月1回など定期開催)

[参考イメージ]

アウトドアライブラリー
(みんとしょ・移動図書館)



ピクニックランチ



グリーンモール (憩い・交流)



テントサウナ



オープンカフェ



ミュージック・アート



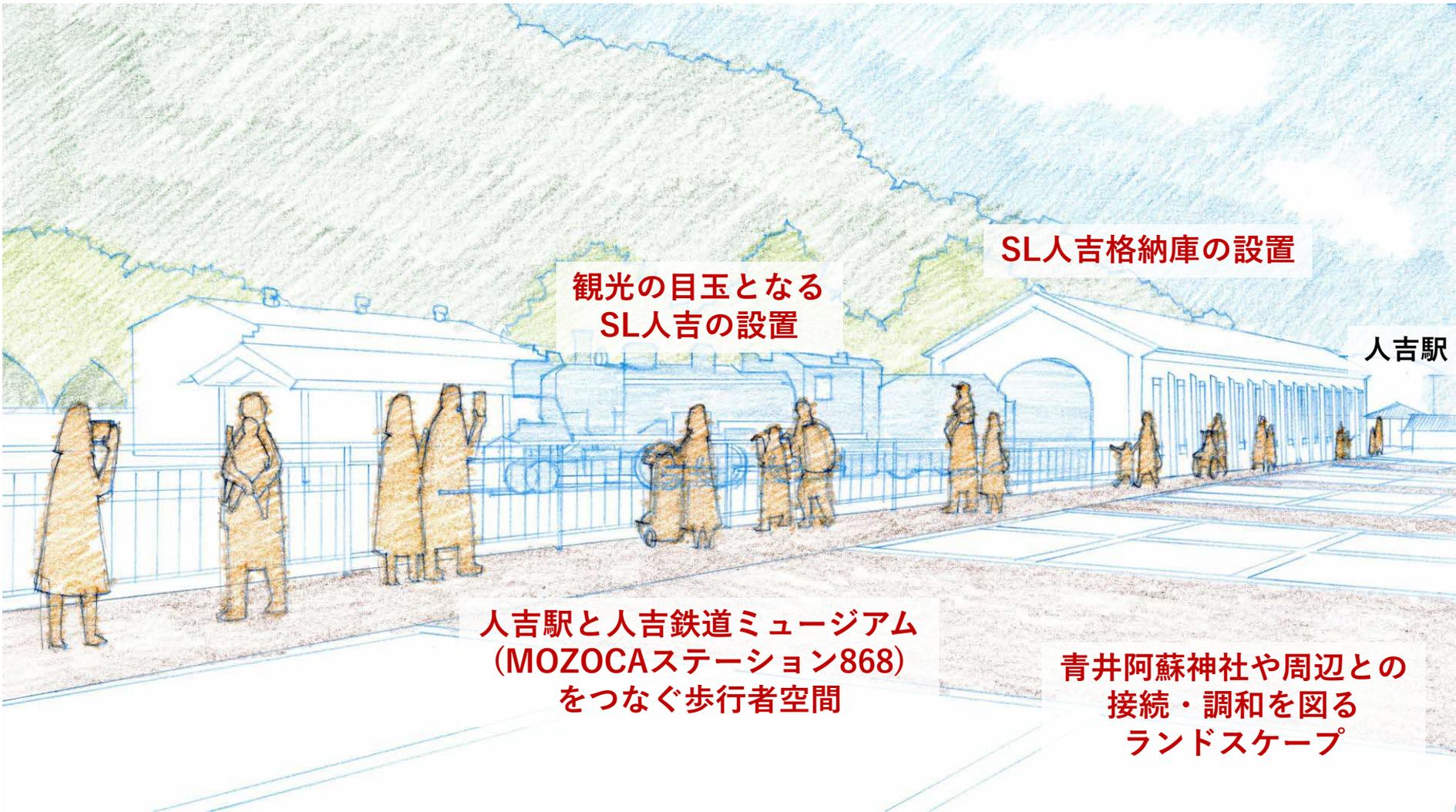
⑤鍛冶屋町通り 将来イメージ (アクションプラン素案)

[鍛冶屋町通りのイメージ]



⑥人吉駅前・SL 将来イメージ (アクションプラン素案)

[人吉駅前・SLのイメージ]



SL人吉格納庫の設置

観光の目玉となる
SL人吉の設置

人吉駅

人吉駅と人吉鉄道ミュージアム
(MOZOCAステーション868)
をつなぐ歩行者空間

青井阿蘇神社や周辺との
接続・調和を図る
ランドスケープ

[新町(土手馬場)のイメージ]

